

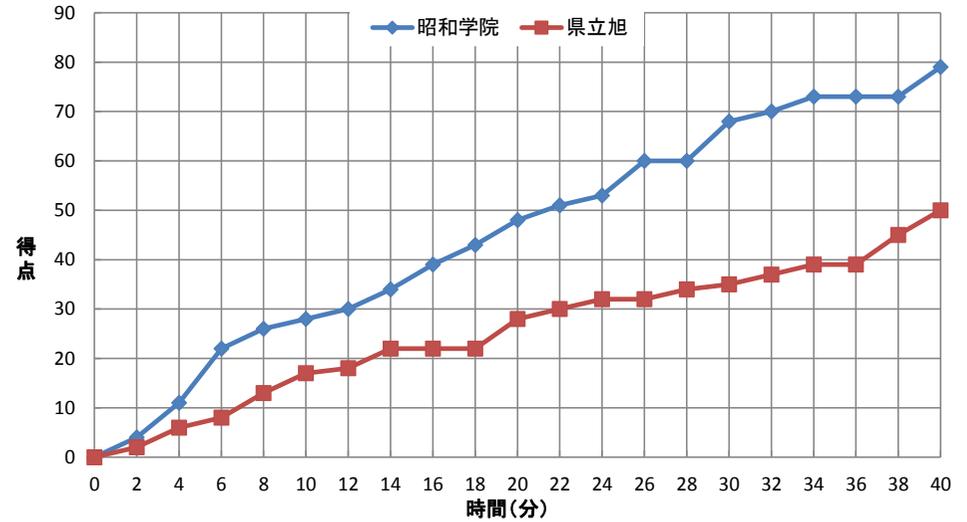


平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

女子		平成28年8月1日 14:30 開始																	
2回戦		県立総合体育館小アリーナ G																	
◎ 昭和学院 (千葉県)	79	<table border="1"> <tr><td>28</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>20</td><td>2nd</td><td>11</td></tr> <tr><td>20</td><td>3rd</td><td>7</td></tr> <tr><td>11</td><td>4th</td><td>15</td></tr> </table>				28	1st	17	20	2nd	11	20	3rd	7	11	4th	15	50	県立旭 (神奈川県)
28	1st	17																	
20	2nd	11																	
20	3rd	7																	
11	4th	15																	
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則						
4	片野 星	2	0	1	0	0	* 4	菊地 真琴	10	2	2	0	3						
5	大塩 菜々子	7	1	2	0	1	* 5	安彦 かすみ	3	1	0	0	4						
* 6	佐古 愛	11	3	1	0	0	6	片野 真里亜	6	2	0	0	0						
* 7	宗形 真李	6	2	0	0	5	* 7	楠本 唯奈	0	0	0	0	3						
* 8	赤穂 ひまわり	20	0	9	2	0	* 8	熊谷 日毬	20	1	5	7	1						
9	山本 美空	6	1	1	1	1	9	平野 彩音	3	1	0	0	1						
10	齋藤 絢	7	0	3	1	1	10	前川 奈那実	-	-	-	-	-						
* 11	星 杏璃	12	0	6	0	3	11	澤飯 郁美	-	-	-	-	-						
* 12	山下 詩織	4	0	2	0	0	12	澁谷 優里	4	0	2	0	1						
13	平野 尚	2	0	1	0	1	13	川越 萌	0	0	0	0	1						
14	大竹 優香子	0	0	0	0	0	* 14	浜屋 菜奈	4	0	2	0	2						
15	関 千尋	2	0	0	2	0	15	富樫 ひなた	-	-	-	-	-						
コーチ	鈴木 親光					0	コーチ	講武 達雄					0						
Aコーチ	日下部 知恵						Aコーチ	西垂水 紀世美											
合計		79	7	26	6	12	合計		50	7	11	7	16						
主審: 中島 淳																			
副審: 大城由華																			

得点経過



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	4:41	15:28	26:33	32:40	:	:	:	:

〔戦評〕
 第1P、両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。序盤、昭和学院#8、12がペイントエリアで躍動する。対する旭も#7の3Pで対抗するが、相手の高さが気になり、外角のシュートが外れる時間帯が続く。流れの悪い旭は残り5分、15対6、昭和学院リードとなった所で早めのタイムアウト。その後旭は#8が3Pやミドルシュートで連続得点するが、昭和学院は#6、7の3Pや#8のインサイドでバランスよく得点を重ね、28対17昭和学院のリードで第1P終了。
 第2P、昭和学院#8が巧みなステップインで得点する。一方旭は#8を起点に攻撃を仕掛け、#12のドライブでの連続得点などで昭和学院に食らいつく。しかし高さに勝る昭和学院は内外ともに安定感のある攻撃を展開。じわじわと得点差を広げていき、48対28、昭和学院のリードで前半を折り返す。
 第3P、旭が#14のドライブで先制。ディフェンスもオールコートマンツーマンに変更し、積極的にスティールを狙う。序盤そのプレッシャーにより昭和学院はターンオーバーが増えるが、そこから旭も加点することができない。中盤から昭和学院は落ち着きを取り戻し、#6、7、8を中心に得点。68対35、昭和学院のリードで第3P終了。
 第4P、ディフェンスでプレッシャーをかけていく旭。リバウンドに対しても粘り強くなり、序盤から中盤にかけて昭和学院の得点が止まる。旭は速い展開から#4、8のドライブで意地を見せる。さらに終盤、旭はこれまでリングに嫌われてきた3Pを#5、9が決め、盛り上がりを見せる。しかし開いていた得点差は大きく、79対50、昭和学院が勝利した。最後まであきらめない姿勢を貫いた旭が印象的な試合であった。

戦評: 菊地 貴明 記録: 可部高校